

過去の診療情報及び過去に採取された検体を用いた臨床研究について

2019年9月10日

虎の門病院および虎の門病院分院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめるものです。この案内をお読みになり、ご自身がこの研究の対象者にあたると思われる方の中で、ご質問がある場合、またはこの研究に「自分の情報を使ってほしくない」とお思いになりましたら、遠慮なく下記の担当者までご連絡ください。

【対象となる方】

2011年1月1日から2019年6月30日までの間に悪性疾患（固形癌及び血液悪性疾患）のために虎の門病院または虎の門病院分院に入院または通院した方の中で耐性グラム陰性桿菌（ESBL産生腸内細菌、カルバペネマーゼ産生腸内細菌、多剤耐性緑膿菌、*Stenotrophomonas maltophilia*）による菌血症（血液検体から該当する細菌が検出された状態）の診断および治療を受けた方。

【研究課題名】

悪性疾患患者に生じた耐性グラム陰性桿菌による菌血症の研究

【単独・多施設】

多施設共同研究

【主任研究者】

国家公務員共済組合連合会虎の門病院	臨床感染症科	木村宗芳
国家公務員共済組合連合会虎の門病院	臨床感染症科	荒岡秀樹

【自施設研究責任者】

国家公務員共済組合連合会虎の門病院	臨床感染症科	荒岡秀樹
-------------------	--------	------

【研究の目的】

悪性疾患患者に生じる耐性グラム陰性桿菌による菌血症は予後不良であることが知られており、これらの臨床像を解析することで、これらの感染症の最適な予防法および治療法の確立をはかるため。

【利用するカルテ情報】

診断名、年齢、性別、身長、体重、既往歴、血液検査結果、画像検査結果、治療経過、血液から検出されたグラム陰性桿菌に関するデータ（菌名、薬剤感受性結果など）

【利用する検体情報】

血液から検出された耐性グラム陰性桿菌を虎の門病院および虎の門病院分院にて解析する。

【研究実施期間】

2016年5月18日 ～ 2024年12月31日

【個人情報の取り扱い】

お名前、住所などの個人を特定する情報につきましては厳重に管理を行い、学会や学術雑誌等で公表する際には、個人が特定できないような形で使用いたします。また、本研究に関わる記録・資料は研究終了後5年間保存いたします。

【研究の方法等に関する資料の閲覧について】

希望される方には個人情報、知的財産権の保護等に支障がない範囲内に限られますが研究の方法の詳細に関する資料を閲覧することができます。

【問合せ先】

本研究に関する質問、お問い合わせがある場合、または御自身の診療情報につき、開示または訂正のご希望がある場合には、下記までお問い合わせください。

御自身の情報が研究に使用されることについてご了承いただけない場合には研究対象としませんので、令和2年3月31日までの間に下記の連絡先までお申出ください。この場合も診療など病院サービスにおいて患者の皆様には不利益が生じることはありません。

【相談窓口】

虎の門病院 臨床感染症科 木村宗芳

虎の門病院 臨床感染症科 荒岡秀樹

電話 03-3588-1111(代表)